

今こそ耐震補強を！

「プロジェクト TOUKAI (東海・倒壊) -0」 自分の命は自分で守る

地震で建築物が倒壊すると、自分が被害に遭うだけでなく避難経路をふさいでしまい、救助や避難が困難になる場合があります。今後、予想される巨大地震からひとりでも多くの命を守るため、市と県が一体となり住宅などの耐震化を進める支援「プロジェクト TOUKAI-0」を積極的に活用してください。

まちづくり課
☎995-1856



対象の住宅に住んでいる方・ 所有している方は積極的な利用を

「プロジェクト TOUKAI-0」は、地震が発生した際に、建築物の倒壊を防ぐために住宅などの耐震化を進める事業です。助成を希望する方は、まちづくり課へお申し込みください。

対象／昭和 56 年 5 月以前に建築された木造住宅
※対象となる方には、郵送で「専門家の耐震診断（無料）のすすめ」をお送りしています。通知が届いていない方でも対象の住宅の方は申し込みができます。

耐震診断から補強工事までの流れ

①専門家の耐震診断 **無料**

市が派遣する専門家（県耐震診断補強相談士）が耐震診断を行います。

市内の利用実績／1,234 棟

②耐震補強工事の設計

補助額／費用の 2/3 以内（上限 96,000 円/戸）

※ 65 歳以上の方のみの世帯、障がいがある方など同居している世帯の方は、144,000 円/戸が上限

市内の利用実績／252 棟

③耐震補強工事

補助額／50 万円/戸

※ 65 歳以上の方のみの世帯、障がいがある方など同居している世帯の方は 70 万円/戸

市内の利用実績／210 棟

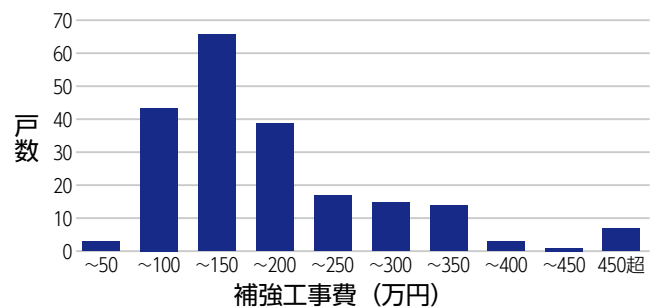
耐震補強工事の設計・耐震補強工事の注意点

- どの業者に頼めばよいかわからないときは、まちづくり課へご相談ください。
- 補助金交付決定前に設計や工事に着手すると、補助金の交付が受けられませんので、ご注意ください。

木造住宅耐震補強工事をした方の 約半数が 150 万円以内

下のグラフは、平成 17 年度から平成 27 年度に木造住宅の耐震補強工事をした方が要した費用です。約半数の方が 150 万円以下で補強工事を行っています。（補助金との差額が、自己負担額です。）

木造住宅耐震補強工事にかかった費用



市住宅建設等促進事業との併用も

市内の施工業者を利用し耐震補強工事を行う場合、追加で補助が受けられます。

補助額／工事代金の 10%（上限 20 万円）

☎商工会 992-0057

住宅・建築物吹付アスベスト改修事業 今年度で終了

県では、吹付アスベストの飛散による健康被害を防止するため、建築物に露出して使用されている吹付け建材に「アスベスト（石綿）」が含まれているかを調査する専門の調査者を無料で派遣しています。現物を採取し、分析機関でアスベストの有無や含有率を測定し、結果を報告します。今年度で補助制度が終了しますので、対象の建築物を所有者している方は、ご利用ください。

